



作品名 (必須)

水面に映るは

学校名 (必須)

創造社デザイン専門学校

ふりがな (必須)
名前

かじのみゆき
梶野 美幸

セールスポイント&ストーリー

舟が揺れて提灯が揺れている。舟から前を進む御鳳輦奉安船を見ると、対照的に静かに花火とともに水面に映っているという情景を描きました。天神祭の花火は奉納花火であることから、水面に映る御鳳輦奉安船の姿は船の上で道真公が使いの牛にお掛けになり、花火をご覧になっている様子を描いています。

平安貴族は月を水面に映して見ていたという話から、もし平安時代に花火があれば月のような鑑賞がされた可能性を考えたこと、能などの古典には水面に覗き込んだ自分とは反転した姿が映るという話などがあるため水面に幻想を感じられること。この2点から水面にフォーカスし、ご神霊の乗られる御鳳輦奉安船の真の姿が水面に映っているという表現としました。水上の御鳳輦奉安船には人を描かないことで、神秘的な雰囲気を出しました。花火は紅梅の花火から連想し、大小6つの花火を配置し梅鉢を表しています。色は夜と水辺を思わせる青を濃淡をつけて3色使用し、日本の伝統色である紅梅色をアクセントにしました。

左の枠の中にデザインをしてください。

注意：使用できる色は特色4色までとなります。
染めで作成しますので4色の掛け合わせはできません。

実際のサイズは

90 cm × 35 cm になります。

周囲 1 cm のずれ幅がありますので

総柄の場合は外側の線までデザインお願いいたします。